

下水道の整備状況等

※別紙計画平面図を参照

(1) 昭和58年度に事業着手し、平成2年度より供用(下水道の一般使用)を開始した。

* 佐斐神町の終末処理場の下流側から上流側の境地区方面へ順次整備してきた。

(2) 平成20年度末における下水道の普及率は47.2%、現在は境地区(境小学校周辺)、上道地区(市役所周辺)などを整備中であり、平成21年度末には普及率が50%を超える見込みである。

【普及率の参考】 全国平均:71.7%、鳥取県内:59.8%(平成19年度末)

(3) 下水道の現認可区域(大正川より東側の境地区など)は、平成23年度に整備完了の予定である。

(4) 平成21年度中に米川の東側まで認可区域を拡大し、境地区、上道地区は平成28年度頃までにほぼ整備できる見通しである。また、森岡町から渡町へ污水幹線を整備して、中海側の整備にも準備していく考えである。

* 終末処理場から離れているため、人口密集の境地区の整備がまだ残っており、優先的に整備する方針である。

◇整備状況(平成21年3月末時点)

項目	行政区域	全体計画	整備済み
人口(人)	36,416(A)	36,500	17,195(B)
面積(ha)	2,879	1,743	702.4

◇普及率及び水洗化率(下水道への接続率)

普及率(B)÷(A)	水洗化戸数	水洗化人口	水洗化率(C)÷(B)
47.2%	5,997戸	14,784人(C)	86.0%

◇既存の主要施設

終末処理場	污水管延長	中継ポンプ場	日最大処理能力	日平均流入水量
下水道センター	137.3km	1箇所(下ノ川)	7,800m ³ /日	4,911m ³ /日

◇建設事業費の推移

(単位:百万円)

内 訳	H16	H17	H18	H19	H20	H21 予算
処 理 場	321	18	61	64	35	256
污水管等	555	514	578	595	540	545
雨水施設	46	29	19	66	79	111
合 計	923	561	658	725	654	912

下水道会計の財政状況

(1)平成20年度事業費の実績

○支出:1,879百万円

(単位:百万円)

建設費 污水管、処理場、雨水施設 654 (34.8%)	市債返済金 1,025 (54.6%)	管維持費 160 (8.5%)
------------------------------------	------------------------	-----------------------

一般管理費
40(2.1%)

※低金利への借換えによる市債返済金や排水設備の貸付金は除く

※建設費のうち、国庫補助:約439百万円、地方単独:約215百万円

○収入:1,879百万円

(単位:百万円)

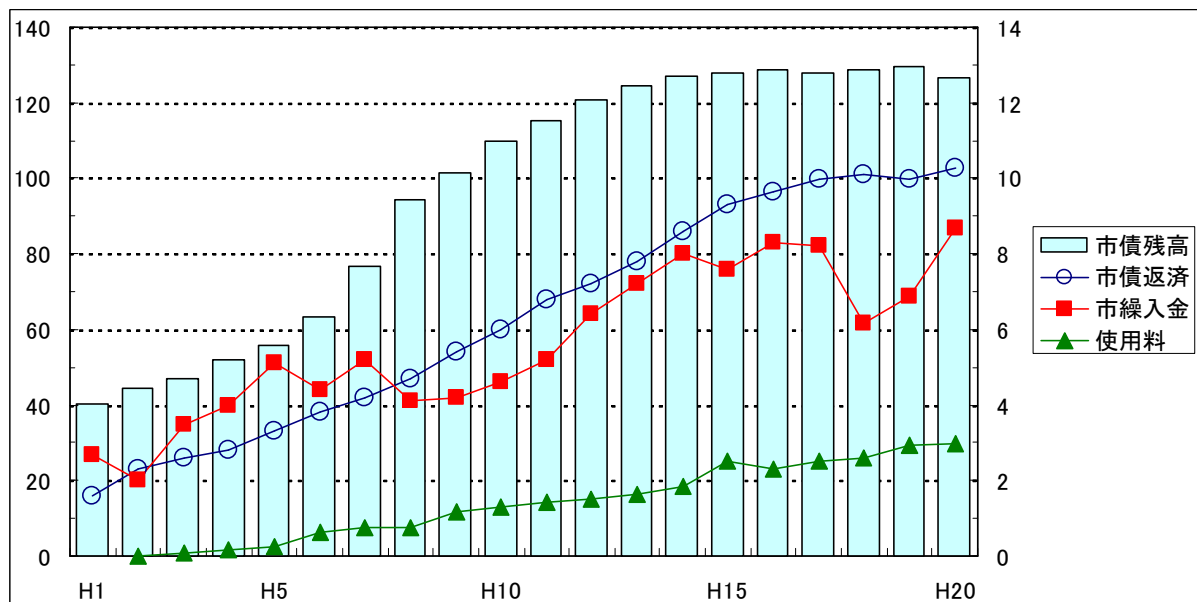
国庫補助金 221 (11.8%)	市債借入 380 (20.2%)	市繰入金(市税等) 869 (46.3%)	下水道使用料 299 (15.9%)
-------------------------	---------------------	--------------------------	--------------------------

受益者負担金
83 (4.4%)

その他
27(1.4%)

(2)市債残高、市繰入金等の推移

(単位:億円)



※左軸—市債残高(借入金残高、平成20年度末の残高:127億円弱)

※右軸—市債返済金、市繰入金(市税等)、下水道使用料収入

※平成18年度、19年度の市繰入金は、一時的な借入等により繰り延べ措置

※過去の高金利借入分から低金利への借換えによる市債返済金は除く

(平成20年度の借換えによる市債返済金:6億4千万円弱)